

## No. 2 2 6 7

草津白根山と志賀高原の奥深いピーク

### 草津白根山と岩菅山

実施日 平成 18 年 10 月 14 日～15 日(土～日)

天 候 薄 / 晴

リーダー 涌井 良明

費用 交通費 5,000 円

宿泊費 9,600 円 合計 14,600 円

参加者 吉田正之、一柳昭、小池述史、涌井良明  
計 4 名

コースタイム 1 日目 白根火山駐車場(11:20～11:25)草津白根山登山口(11:50)草津白根山展望所(12:25～12:40)昼食鏡池 13:08～13:20 鏡池(往復)草津白根山登山口(13:55)白根火山駐車場(14:20)ホテル銀嶺(16:00)泊

2 日目 ホテル銀嶺(8:30)高天原ワド(8:40)リフト山頂(8:53)金山沢の頭(10:00～10:05)ノッキリ(11:08～11:15)岩菅山頂(11:45～12:30)ノッキリ(12:50～12:52)アライタ沢出合(13:42～13:50)岩菅山登山口(14:20～14:25 送迎車)ホテル銀嶺(14:40～15:00)

火打山・妙高を企画変更させてもらい行ったが、参加頂いた方に感謝です。メインの 2 日目は絶好の山日和に恵まれて優雅な秋山を堪能できた山行だった。

1 日目、予想に反した曇空を見つつ草津へと車を走らせる、白根山駐車場につく頃はガス真只中、視界は約 10m といった具合である。駐車場から道路を横切り逢ノ峰に向う、逢ノ峰山頂に東屋があるが、当然眺めはなし、此处から舗装路が通る白根火山ロープウェイ駅の本白根山登山口へ下り、本(草津)白根山登山口周回コースへ入る。霧中歩行ながら好ましい雰囲気の樹林帯を登る、樹林が切れると火口の縁辺りに



出たらしいがガスで周りの状況は全く分からない、ガレっぽい山腹を巻気味に進むと分岐に出る、右が本白根山登山路最高点(山頂は火山ガスで立入禁止)だが、左へ進み展望所で昼食にした。寒く冷たい風がそよぎ相変わらず周囲はチラリとも見せてくれない。真にガス男状態(パクリです)。周回路を進み、鏡池方面に歩く、水面しか見えなかった池を往復し、ロープウェイ登山口に向い、車道経由で駐車場まで戻る、ガスが切れ目に湯釜見物をして志賀高天ヶ原の宿に向う。温泉に浸かり食べて飲んで翌日に備えて就寝 z z z …

2 日目、外は快晴、ゆっくり目に 8 時半に宿を出て目の前の夏山リフトに乗り、標高 2000m 近くまで高度を稼ぐ。

高山植物園から右手方向に小さく下り岩菅山に向う、寺子屋スキー場のゲレンデから山道に入りしばらくで金山沢ノ頭に着く。この先からは眺望



の良い稜線歩きとなる、小さく登降をしながらもほぼフラットに感じる道をご機嫌で歩く。尤も悪天時はつらい道となりそうだ。前方のスッキリと伸び上がった



岩菅山が徐々に近づいてくる、1 時間程で樹林の小広いノッキリに着く、ここから山頂への急登が始まる、直ぐに左右とも展

望の開けた急な登りになる、時々貰える心地良い涼風に励まされながら、崩れかけた木段などを混じえた急登を喘ぐ。じっくり 30 分であっさり素直に山頂に飛び出す。360 度ぐるり展望の山である、特に笠ヶ岳から白馬岳方面まで連なる北アが素晴らしい、白馬付近は先週の低気圧の名残か他に比べ雪化粧が目立つ。

この天気で山頂に憩う人の姿も多い、山頂の一角には避



難小屋(前回登った時より大分古くなった感じ)とトイレもある。山頂を充分に楽しんでノッキリまで戻り、右へアライタ沢への下りにかかる、途中より

木段の連続となり膝にはあまり優しくないが、アライタ沢からは平坦歩きになり、底清水の旨い湧き水で喉を潤し、また今回は喜び事件? で盛上つつ、前回の会津駒同様コースガイドよりかなり短縮したタイムで無事下山した。帰路ノンアルコールで反省会をしつつ、秋を感じられた楽しい山行も終了した。

山良し、天気良し、宿良し、そして食事良し、勿論メンバーもね…、歩きも楽で、眺めも時期も絶好で会で初めて(多分)の山なのに皆さん行かれないのは?? 山へ行く会なのに、不思議な気もしますね。

(記・涌井 良明)